



2023年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
代 表 者 名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
(コード番号: 2410 東証プライム)
問 合 せ 先 常務取締役 経営企画担当 西山 裕
(TEL: 03-3560-1601)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、各段階利益が前回業績予想を上回ったため2022年11月9日に公表しました2023年9月期通期(2022年10月1日~2023年9月30日)の業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年9月期通期 業績予想の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	1,314	1,300	881	156.29
今回発表予想(B)	17,500	1,563	1,550	1,086	196.28
増減額(B-A)	-	249	250	205	-
増減率(%)	-	18.9	19.2	23.3	-
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	15,507	1,102	1,101	793	140.68

2. 修正の理由

当事業年度におきましては、売上高は前回の業績予想通りで推移するものの、利益面では、収益性の高いメディア情報事業、人材紹介事業を中心にその他事業の売上高は増加することで、各段階利益は前回の業績予想を大幅に上回る見込みであります。

売上高につきましては、IT派遣事業では第3四半期累計期間における稼働人数が減少したことで前回予想を下回る見込みではあるものの、新規稼働人数の増加を図るための営業体制の強化及び求人案件の開拓強化や、ITエンジニアを中心とする登録者獲得施策の強化で第4四半期以降は改善する見込みとなっております。また、その他事業では、第3四半期に引き続き「エンジニア」領域と「女性」領域において高い採用需要が継続するとともに、女性エンジニアの取り込みや「関西エリア」「ミドル」領域の拡販、『Direct type』の商品力強化等、中期経営計画の重点施策は順調に進捗していることから、収益性の高いメディア情報事業、人材紹介事業を中心に売上高は前回予想を上回る見込みとなっております。

各段階利益につきましては引き続き、オードリーのお二人を起用した広告宣伝で、typeブランドの認知度・ブランディングの向上を実現していくとともに、より効率的な広告宣伝を実施することで、業績の更なる拡大を進めて参ります。なお、今後の世界経済・情勢を鑑みて柔軟に対応して参りますので、状況に変化が生じた場合には速やかに開示をいたします。

当社としましては、今期の業績は順調に推移しており、来期以降も高い成長を実現するべく、全社一丸となり尽力して参ります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上